

入 選

2/7 (木)

ルール工夫しプレー

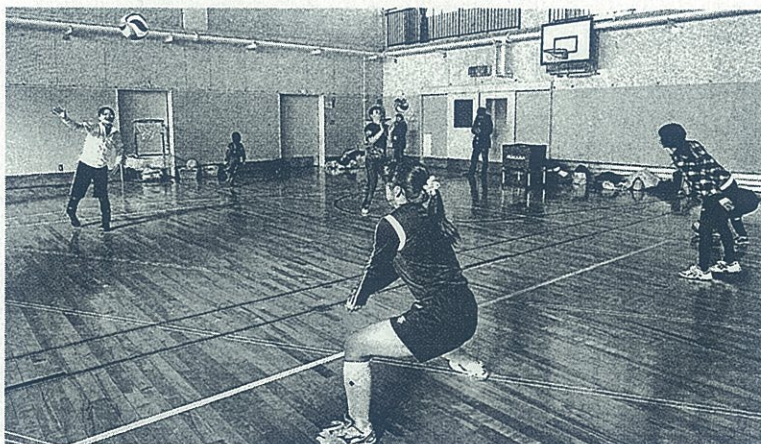
障害者スポーツにはさまざまなものがあり、障害の種類や程度に応じてルールや道具を工夫することで、誰でも楽しむことができず。県では、二〇一八年に県内で開かれる全国障害者スポーツ大会に向けて、体験教室の開催や障害者スポーツサークルへの支援などを行い、団体競技に取り組む人たちの裾野を広げたいです。

ある日曜日の午前十時。ひんやりとした体育館に、バレーボール仲間が集まってきました。みんなで軽くランニングしウォーミングアップを終えると、それぞれにバレーボールを手にしてレシーブの練習が始まりました。

経験者にも初心者にも、それぞれ指導者が寄り添い、丁寧にコーチ。バレーボールを始めたばかりのSさんからは、指導者とペアを組んでレシーブの練習をしていくうちに「ボールが怖くなくなった」と喜びの

いきいきライフ

障害者スポーツ①



障害や競技経験の有無にかかわらず、一緒に取り組むバレーボール体験教室＝1月13日、福井市光陽3丁目の福井養護学校体育館で

声が上がりました。アタックやサーブの練習もこなします。バレーボールが大好きな、経験者のFさんは、指導者にマンツーマンでアタックを教えるにも、決まるとうれしそう

な笑みを浮かべます。指導者も笑顔でうなずき、手話もこなし、通訳者が手話で「上手」と伝えると、Fさんはまたうれしそうに笑います。それに負けじと、Oさんもアタック練習に力が入ります。練習の後半は経験者も初心者も一緒になって、ネット越しにゲーム形式で練習をします。レシーブがうまくできない場合はボールをキャッチして相手コートに戻してもよいルール。ボールをつなぐことを意識して、みんなで協力して三回で相手コートにボールを返します。成功しても失敗しても、みんなの掛け声や笑い声が体育館いっぱいに広がります。

これは福井養護学校体育館や福井市ちもり体育館で毎週日曜の午前中を基本に開いている聴覚障害児者、知的障害児者のバレーボール体験教室の様子です。特別支援学校の生徒や、普段は仕事をしている社会人の人たちが、一緒に楽しくバレーボールに取り組んでいます。年齢はさまざま。参加申し込みはいつでも受け付けています。都合がつく日のみの参加も可能で、当日の飛び込み参加もOK。障害のある人もない人も、バレーボールに興味のある人なら、ぜひ参加してください。この他にも、全国障害者スポーツ大会の団体競技には、バスケットボール知的、車いすバスケットボール身体、ソフトボール(知的)、グラウンドソフトボール(視覚)、バレーボール(知的、聴覚、精神)、サッカー(知的)、フットベースボール(知的)の全七競技があります。一二年度の体験教室では、県外チームとの交流試合も体験しました。今後とも体験教室を開催する都度、県障害福祉課のホームページ(HP)で募集していきます。現在はバレーボールと、十七日開催予定のサッカーの体験教室について参加者を募集中。みんなで一緒に楽しみながら、障害者スポーツを盛り上げていきましょう。詳しくは県障害福祉課☎電0776(20)03388へ問い合わせください。

掛け声や笑い声広がる

(県障害福祉課)